



麻布幼稚園だより 5月号

平成30年4月27日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「PTA活動の役割と期待」

園長 大島 美知代

入園して3週間が経ちました。あっという間だったように思います。入園した園児、保護者はこの3週間はいかがでしたか。お子さんも、保護者も登園させる、お迎えに行く、様々な園の集まりに参加する、お弁当を持たせる（新入の4歳児）など、新しいことが次々に起こり、お忙しい毎日だったことと思います。

5月になると、年少組3歳児もお弁当が始まります。親子での遠足もあります。健康診断も様々あります。お子さんの様子を見ていただく「参観」も、懇談会もあります。年中組4歳児には初めて年長組と出掛ける徒歩遠足もあります。お子さんが初めての経験をするのでご心配もあると思いますが、いつでも不安に思ったことなど何でも教員にお申し出ください。

さて、PTA総会が4月23日に終わりました。P…保護者、T…教員の会です。PTA活動ではPTA役員さんとそれぞれの委員長さんが中心となって行われます。Tの窓口は園長であり、主任です。それぞれの担任は園長、主任が連絡をして、PTAの共催の行事に連携を密にとっていきます。

なぜ、PTAが必要か？私はPTA総会でお話した通り、PとTの真ん中にいる園児が豊かな幅広い経験をさせるために、だと思います。園児が自分のお母さん、お父さんだけでなく、友達の保護者と先生たちが一緒に、自分たちのためにいろいろなことを計と感ずると思います。幼稚園の立場だけと言い張ったり、保護者の考えだけを優先したりするのも？だと感じています。親子遠足でも、夏祭りでも、おもちつき会でも、麻布幼稚園の広報誌作りでも、どれも私たちも真ん中にいる園児のためです。園児が幼稚園だけではできないこと、保護者個人ではできないこともPTAならできるのです。そのためにこそ、PTAがあるのだと考えています。実際に率先して係や会員をひっぱり、説明し、分担し、等の様々な仕事のリーダーシップを執ってくれる役員さん、委員長さんはやはり大変です。だって考えたことを説明したり、手紙を作成したり、教員と連絡を取ったり、打ち合わせをしたり、たくさんのことを考えて行ってくれるからです。私は一緒に仲間として教員との連携を密になるようにし、互いの考えを言いやすいようにして良きパイプ役となるようにしたいと今年度も考えています。

今年度、もしかしていろいろな難題にもぶつかるかもしれません。でも、大人の満足することが大切ではなく、真ん中にいる園児が満足することを考えて、1つ1つ解決して進んでいきたいと思っています。PTA活動にも、そして園児に直接かかわる教育活動にも、力とアイデアを貸してください。そして我が子はもちろん、麻布幼稚園の園児の成長のために、時間が許すなら、余裕があるなら、ぜひ園児の様子、園の取り組みも理解できるので、どんどんPTA活動、教育活動に参加してください。よろしくお願ひします。